



13 JR 検見川浜地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	地域拠点	
面積（促進地区）	194.0ha	
旅客施設（3000人/日以上）乗降客数	JR 検見川浜駅	31,368人（平成30年度）
バス便数	検見川浜駅	208（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
生活関連施設数	17施設	
生活関連経路延長	約5,480m	
500m圏人口	15,090人	※JR 検見川浜駅を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	4,383人	
500m圏高齢化率	29%	
従前の基本構想から の主な変更点	<ul style="list-style-type: none"> ・都市機能誘導区域、真砂いきいきセンターを含むよう地区拡大 ・JR 稲毛海岸地区と重複しないように地区境界を精査 	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

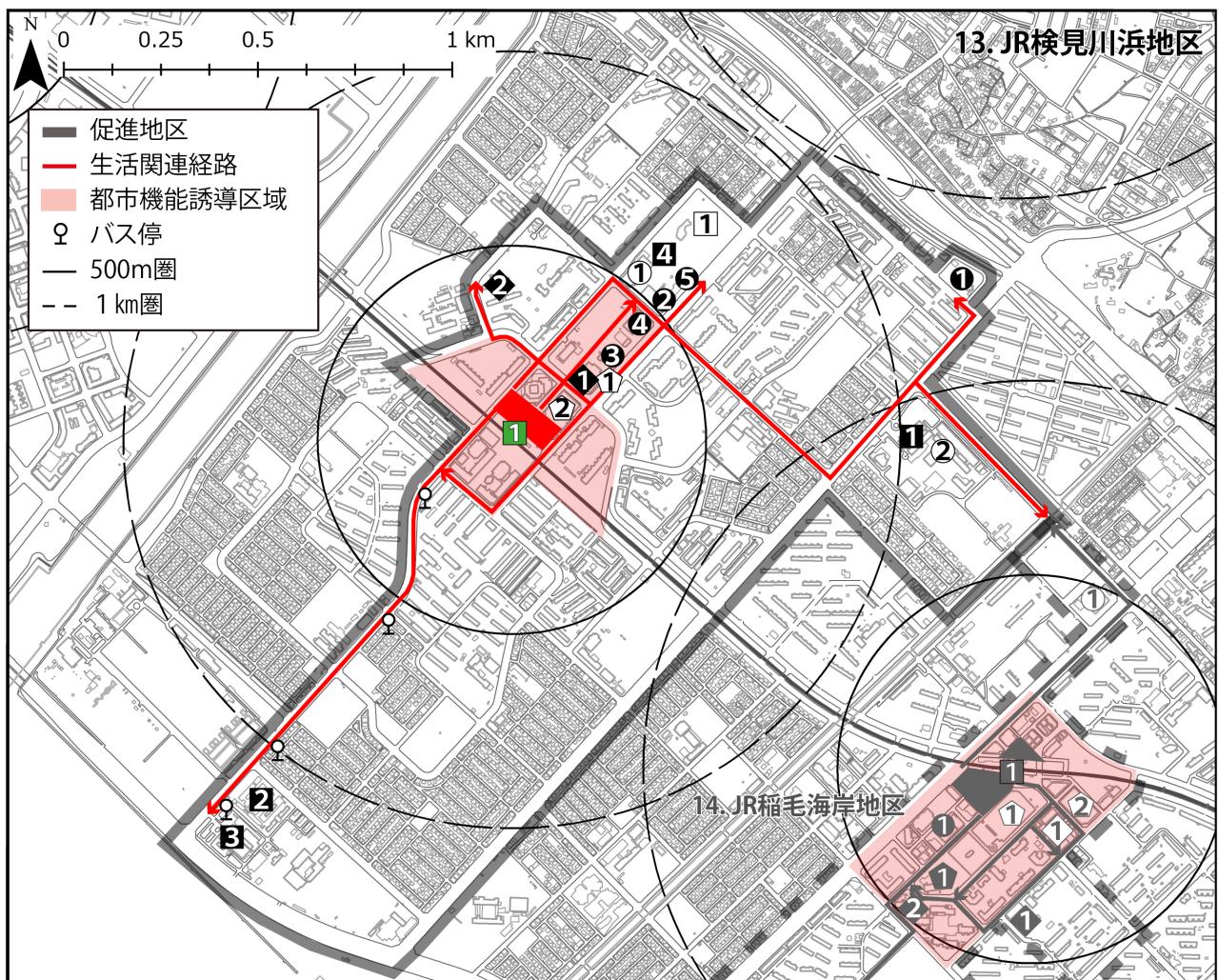
JR 検見川浜地区は駅周辺の人口が促進地区の中で最も多く、高齢化率も比較的高い地区です。駅前から北口方面は歩行者専用道となっており、沿道に主に地域住民の利用が想定される公共施設や大規模店舗が立地しています。駅を囲うように集合住宅が多く立地しており、北東側に都市機能誘導区域が設定されています。

駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化され、連続して視覚障害者誘導用ブロックが敷設されています。広域から利用が想定される3つの病院（東京歯科大学千葉歯科医療センター、千葉県救急医療センター、海浜病院）は駅から1km以上離れており、バス利用が多いことが想定されます。海浜病院内へのバス便は少ないとから、近隣の磯部8丁目バス停の利便性向上やわかりやすい案内誘導が求められます。

JR 稲毛海岸駅との駅徒歩圏が重なっており、連続的な移動への配慮が求められます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 駅前広場の利便性を向上します。
- バス停留所の利用環境、及びバス停留所と生活関連施設間の移動の連続性の向上を図ります。



種別	番号	施設名称
旅客施設	1	JR 検見川浜駅
公共施設	1	千葉西警察署
	2	美浜区役所 ※1
	3	千葉西県税事務所
	4	美浜郵便局
	5	西部市税事務所 ※1
福祉施設	1	千葉市あんしんケアセンター真砂 ※2
	2	真砂いきいきセンター
保健施設・病院	1	東京歯科大学千葉歯科医療センター ※3
	2	千葉県救急医療センター
	3	海浜病院
	4	美浜保健福祉センター ※4
文化・教養・教育施設	1	美浜文化ホール ※4
	2	東京歯科大学 ※3
大規模店舗	1	ショッピングセンターPIA ※2
	2	イオンスタイル検見川浜
都市公園	1	真砂中央公園



JR 検見川浜駅北口駅前広場



JR 検見川浜駅南口

※は同一建物内